

はな華 78

久しぶりの外出行事

石ヶ谷公園でお花見をしよう



2025.4.9 OHANAMI Photo by Rina Kitano

施設長より 池田昌弘
スタッフボイス 沢谷栄衣・廣野幸徳・
朝礼スピーチ 山本水穂・前橋美穂・川口琴音



朝礼スピーチ



播磨町で開催されたロードレース大会に子供たちと一緒に参加し、1.5km走りました。

去年、子供たちの友達に参加していたことが羨しかったように、今年も走りたいという申し出があり初めてファミリの部へ3人で参加することになりました。普段テニス以外で運動することがなく、長距離は苦手だったので仕事から帰宅後に子供たちと練習をしました。

大会では上り坂で心が折れそうになりましたが、自分の前を走る子供たちの姿に成長を感じながら、なんとかゴールすることが出来ました。長男は4月で6年生になります。

成長とともに一緒に過ごす時間も短くなっていくと思うので、小さなころでも何か一緒に挑戦する機会を大切にしていきたいと思いました。最後に自分を褒めたいと思います。

(事務員 山本水穂)



先日、同期7人で日帰り温泉旅行に行きました。普段なかなか職員が集まる機会は少なく、特に他の事業所に異動した人も合わせて皆で会うのは久しぶりでした。予定を立てた時からとても楽しみでした。

車内では仕事やプライベートの話をしてお互いの近況を聞きながら、最近の仕事の悩みを共有できたことがとてもありがたかったです。日帰りでもしっかりと温泉を楽しむことが出来、料理はどれも美味しく感動しました。その後は、海を見ながら食事ができるカフェに行き、写真を撮る楽しさを味わいました。海をバックにジャンプをしたり、面白いポーズを考えたりして笑いながら写真を撮る時間がとても楽しかったです。

帰る車内でも仕事やプライベートの話で盛り上がり、沢山話した一日でした。今後もういっしょに定期的に参加してフレッシュな気持ちになる事もあるかもしれません。お互いに支え合って頑張っていきたいと思っています。次は同期みんなでお花見をする予定でも楽しみます。

(介護員 前橋美穂)



編集後記

今年度初めての広報誌の発行となりました。

今後は、満開の桜に囲まれて新たなスタートを迎えた新入職員の紹介や、観覧会の写真特集など、春を感じる内容が盛りだくさんとなっております。外出行事として、石ヶ谷公園へ花見に出かけました。春のやわらかな日差しの中、満開の桜に囲まれて、皆さんと穏やかなひとときを過ごすことができました。季節の移り変わりを感じられる、こうした行事の大切さを改めて実感しています。

これからも、皆さんに楽しんでいただける広報誌「はな華」をお届けしてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



(介護員 川口琴音)

(生活相談員 原田七海)

新しい章の始まり

総施設長 池田昌弘

新年度は、「新しさ」を実感する季節。街では、真新しいスーツに身を包んだ新人社員
の姿がまぶしく映ります。ここ清華苑でも、今年は10名の新人職員を迎え、フレッシュ
な空気とともに新しい一年が始まりました。

ある朝、春の光が差し込む中庭で、ふと足を止めた瞬間、小さな花が咲いているのを見
つけました。誰にも気づかれぬうちに、そっと根を張り、静かに、でもしっかりと咲いて
いる。そんな姿に、私たちの仕事が重なるように感じました。

「家族のみなさま、いつも大切な利用者を私たちに託してくださり、心より感謝申し
上げます。「施設に預け」という決断には、大きな不安や葛藤があったことと思います。
「つづきの親はなじるだろうか」「寂しい思いをしないだろうか」そんな想いを胸に、
扉を開いてくださったお気持ちを、私たちは決して忘れません。

「ここへ過す時間が、人生の「終わり」ではなく、「新しい章の始まり」となるように。
日々、ご本人の心に寄り添いながら、一緒に小さな喜びを見つけ、紡いでいくことを大切
にしています。

ご面会の際、「家族と手を取り合い、静かに涙を流される姿を見るたびに、家族の絆の
強さを感じます。」「ここに来てから、お父さんの表情が柔かくなったね。そんな何気な
いひと言が、職員一同にとって何よりの励みです。

これからも、安心してお任せいただける場所であり続けられるよう、私たちは一人ひと
りの人生に敬意をもち、真心でお迎えます。

私たち職員にできることは、大きくはないかもしれませんが、一日一日をその方ら
しく、笑顔で、安心して過ごしていただけるよう、心をこめて関わらせていただきます。
春あたたかさが、皆さまの心にもそっと届きますように。そして、次にお会いできる
日を、私たちも心から楽しみにしています。

今年度も至らぬ点はあるかもしれませんが、どうぞ変わらぬご支援をよろしくお願いし
上げます。

特養配属の新入職員紹介

この春、法人全体で10名の新入職員が
清華苑に仲間入りしました。合同研修を
経て、特別養護老人ホームには6名、老人保健
施設には4名がそれぞれ配属され、現場で
の一步を踏み出しています。

これから、ご利用者の皆さまとの関わり
を通じて、多くの学びと経験を重ねていく
ことになります。それぞれが介護や福祉の
仕事に夢と志を持ち、自らの成長を目指す
日々のスタートです。

ご家族や地域の皆さまには、温かく見守
っていただけますと幸いです。私たちも全
力で支え、共に歩んでまいります。今後の活
躍に、どうぞご期待ください。

川畑桜 18歳
自慢は笑った時のほった。

<自己PR>

人と話すことが大好きです！
介護は未経験ですが、ご利用
者に寄り添った介護ができる
よう同期や先輩職員の方々と
学びながら頑張ります！

山本蓮 22歳
自慢は素直なところだす

<自己PR>

私は素直さを大切にし、
明るく前向きな姿勢で物
事に取り組めます。失敗
も成長のチャンスと捉
え、常に学び続ける姿勢
を忘れません。

高岡瑛 22歳
自慢は背が高いこと。

<自己PR>

何もかもが新しいことばかり
で緊張していますが、明
るく笑顔で頑張っていきたい
と思います。

栗林舞 22歳
特技はマシガントーク
です(笑)

<自己PR>

新しいことに挑戦するのが
好きです！新たな環境
にワクワクしています！
皆さんと協力しながら、
楽しく頑張っていきたい
です！

鶴瀬悠姫 22歳
特技はどこでも寝ることができる！

<自己PR>

自己PR：私は食べることが好き
で、特に海鮮に目がありません！
笑顔で大切に、多くの方とお話して
いきたいと思ひますのでよろしくお
願ひします！

北谷航輝 22歳
特技は、蚊に刺され
ないことです！

<自己PR>

想いを大切にし、人
の心に寄り添う優し
さと感受性が豊か
です。一切は心より転
ずの信念を胸に前向
きに頑張っていきたい
です。





エピソードに掲載されているご利用者と写真に写られているご利用者は別の方で関係はありません。



はじめまして！

管理栄養士 灰谷葉衣

特別養護老人ホーム清華苑で管理栄養士をしてあります灰谷です。

ようやく、春の暖かさを感じる日々に、心もウキウキしてまいりました。

さて、私は昨年1月より、管理栄養士として採用していただきました。それまでは、総合病院で7年間、歯科で4年、産休育休で3年育児に専念、勤めておりました。栄養マネジメントをするにあたり、4年のブランクがあったため、最初是不安でいっぱいでした。前任の岸田管理栄養士から1カ月半ほどかけて、業務を引き継ぎましたが、業務の多さ、献立数の多さにも驚きました。毎日必死にメモを取りながら、何度も質問しても嫌な顔せず丁寧に教えてくださり、感謝しています。

また、法人内の老健の内匠管理栄養士もフォローをしてくださり、横の連携がしかりとしており相談しやすい環境にとても恵まれていると感じております。

病院に勤めているときもそうでしたが、管理栄養士は他職と関係を深めるのに、少し時間がかかります。

ります。というのも、パソコン業務が多く、事務所に離りがちになってしまっています。

そのため、できる限り昼食時にはミールラウンドを行い、ご利用者の喫食状況や嗜好などを把握したいと考えています。また、スタッフからも気軽に声をかけてもらい、どんな些細なことでもいいので、ご利用者の食事の問題点を教えてもらいたいのも抱いています。ご利用者とスタッフとって距離の近い管理栄養士を目指しています。

ご利用者から「栄養士さん」と声をかけて頂き、食事の相談であったり、若い時の話などをしてくださるのが、とても有意義な時間となっています。

また、「利用者から」「このご飯は美味しい」と褒めて下さることが多く、実際に調理を行っている調理スタッフには頭が上がりません。これからも、ご利用者の意見を汲み取り、食べやすく美味しい食事を調理スタッフとともに試行錯誤しながら、提供したいと思っています。

STAFF VOICE

スタッフボイス

特別養護老人ホーム 清華苑

介護、看護、相談、調理、事務、それぞれの部署で働くスタッフの生の声をご紹介します。



社会福祉法人 三幸福祉会
清華苑
miyukifukushikai seikaen

いつまでも忘れない

介護員 廣野幸穂

私は入社して16年になります。今までにたくさんのお会いもあれば、たくさんのお別れもありました。その中でも、私にとって忘れられないエピソードがあります。

ご利用者のT様は私のケース担当でした。出勤の日には「おはようございます」と声を掛けるといつも笑顔で「おはよう。今日も仕事か。ご苦労さん」「今日は何時に帰るんや」と言われます。帰る時間になるとエレベーター前まで来られ、「気を付けて、帰るや」と手を握って見送って下さいました。その何気ない日常が私は嬉しくまた仕事を頑張ろうという気持ちにさせてくれていました。

ある時、自分の体調が優れない日がありました。そこにT様が、「あんた、大丈夫か？」と心配して下さり、「大丈夫ですよ」と伝えるもそばにいた他の職員に「ちょっとー」の字、顔色悪い

からあんた変わったって」と言われました。私はT様がそこまで心配して下さったことにとても嬉しく思いました。

いつも私に「頑張るや」と声をかけてくださり、今でも何か辛いことがあった時には、T様のその言葉を思い出します。そのたった一言に、何度助けられたかわかりません。

T様との出会いがあったからこそ、今も頑張れている私があります。そして、T様との関わりは、これからも決して忘れることはありません。このやりがいのある仕事を続けたいと考えているご利用者の皆様が笑顔を見せてくださるために、私自身も笑顔をとくさん届けたいと思います。

そしてこれからも、人と人とのつながりを大切にしながら、寄り添ったケアを行っていきたいと考えています。

念願の外出行事を再開！

介護員 小川千尋

桜にまつわる大切な思い出はありますか？

多くの人はお花見をはじめ、旅行や入学式を連想するのではないかと思います。私自身、今年も桜を見ることで、これまでの友人や恋人との思い出、幼い頃家族と行った公園、小学校の入学式等、様々な思い出が蘇ってきました。実際にその年その年の風の匂いまでもフルカラーで温かく思い出されます。

大げさに聞こえるかもしれませんが、このような経験は少なからず誰しもあるのではないのでしょうか？それは日本人にとって桜が特別な存在であるからようです。国花でもある桜は数千年以上前からその感動を日本人の遺伝子に刻み込んでいるのかもしれません。

当苑では4月初めに石ヶ谷公園にお花見に行きました。ここ数年コロナウィルスの影響もあり、なかなか外出行事を開催できていませんでした。久しぶりの外出行事は、各部署それぞれの想いを込めて企画しました。

準備を重ねて迎えた当日の天気は快晴！桜は満開！気温も温かくまさにベストコンディションでした。

参加されたご利用者は、春のあたたかな風に吹かれてどの方も穏やかな表情をされていました。

近くで遊んでいるお子さん、散歩中の犬など微笑ましい表情で見つめられ、「気持ちいいね」と言われるご利用者、その一言には多くの思いが込められていたように感じました。私も色々な思いを込めて「気持ちいいですね」と返答し、ただひとつの行事を企画してよかったと心から思いました。

令和7年度、とても幸先の良い始まりであったと感じています。今まで開催出来なかった外出行事を各部署丸となって再始動させ、ご利用者に「今日も楽しかった！」と感じて頂けるようにこれからも取り組みを続けていきます。

